

大川村議会維持対策検討会議の設置について

趣旨

- 大川村は、大川村まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、土佐はちきん地鶏や大川黒牛の増産、集落活動センターの立ち上げなどの施策を展開し、雇用の創出、移住者の増加、年少人口割合の増加などの成果を着実に挙げている。
- 県は、これらの取組を大川村プロジェクトとし、県職員を派遣するとともに地域アクションプランにも位置付け、全力で支援してきた。
- このたび、大川村は、村議会の維持を目的とする勉強を行うとともに、想定外を想定するため、村民総会について勉強を行うこととしている。村議会のあり方については村及び村議会が住民と向き合って検討することにあわせて、兼職兼業の問題など法制度上の課題についても検討が必要となる。
- これらを踏まえ、大川村及び高知県は、協働して村議会を維持するための課題解決策を検討するとともに、大川村プロジェクトを大胆に加速することにより、大川村が、これまで同様の住民自治を確保しつつ、若者が定着できる地域として中山間地域活性化のモデルケースとなることを目指すこととした。

メンバー

大川村：副村長、総務課長、事業課長、むらづくり推進課長、むらづくり推進課参事
(村事務局：むらづくり推進課)

高知県：総務部長、地域産業振興監（嶺北地域担当）、市町村振興課長、計画推進課長、中山間地域対策課長
(県事務局：市町村振興課)

スケジュール

6月22日【予定】 第1回会議 場所：大川村役場
7月中旬【調整中】 第2回会議 場所：県庁
以降未定

検討課題

①大川村議会の維持に向けた課題の解決策

兼職兼業規制のあり方、議会運営の取組事例の研究など

→必要に応じて国への政策提言を行う

②大川村プロジェクトの加速（別紙参照）

会議

原則公開（個人情報を取り扱う場合等は非公開）